

板野中学校 同和教育だより

M Y S K Y N o. 1 0

2000年9月19日(毎月第1・第3火曜日きまぐれ)発行

発行者

編集・文責
駐吉成正士
雕次本知己

今年の文化祭は良かったですねえ！合唱なんか特に良かった！楽しんでるって感じが伝わってきましたよ！みんなもうサイコー！ところで、劇「SEASONS」はどうでした？



◇遅くなりましたが、夏の感想です(学習会夏季一泊研修、全高・浜田三中交流会)

おそ なつ かんそう がくしゅうかい か き いっぽく けんしゅう せんこう はまだ さんちゅうこうりゅうかい
夏休み中、たくさん行事はあったのですが、紙面の都合上、たくさん感想文を紹介することができそうにもありません。コメントも入れたいのですが、それすらも……。まずはこれ。

板野町学習会小中合同夏季一泊研修(8月17日～18日YMCA阿南国際海洋センター)

ぼくは一泊研修でとてもいろいろなことが学べたと思います。まず、友達の大切さです。みんなで協力していろいろなことを成し遂げたということです。そして海ではヨットやカヤックやカヌーに乗りました。僕はこの三つとも乗ったことがなかったので、とても楽しかったし、いい経験になったと思います。そして、夜の話し合いの時に、意見が言えて良かったと思います。そして、いつまでも遊びのような気持ちにならないで、やるときにはやるという気持ちで、気持ちをすぐに切り替えていきたいなあと思いました。今回の一泊研修は、本当に思い出に残ると思いました。 2年男子

このほかにも、『夜の話し合いで、6年生の気持ちが聞けて良かった』とか、『一回でも意見が言えてすごくなれしかった』とか、『上田先生(東小)に水鉄砲で水をかけられてすごく冷たかった』とか、いろいろ書いてくれました。今年行けなかったみんなも、来年はみんなで行って楽しもうね！

統いてはこれがですが、この思いを大切に、ぜひ全員で考える全体学習にしてみましょう！

部落解放第32回全国高校生集会・浜田三中交流会(8月23日・24日アステ化くま他)

私は、初めて全高に行きました。最初は「全高って何をするんだろう、どんなんだろう。」とずーっと思っていました。私は、姉ちゃんが全高で徳島の紹介をするのを知っていました。Mが水平社宣言を読むのも知っていました。私は、姉ちゃんとMをみて感

動しました。なんか全高に行って自分に自信がわいてきました。姉ちゃんは最初差のことについては、全然興味がなかったのに周りの友達のおかげで差別のことをいっぱい知り、自分に自信をもって何百人の前で堂々と言っているのを聞いて、「自分はこんなではダメやなあ。」と思いました。

石川一雄さんの話も聞いて、もっともっと自分という自分をまだみんなの前に出せてないと思いました。私は、石川一雄さんとは、2回会ったことがあるけど、石川一雄さんといっしょに闘っていきたいと思います。……略……

浜田三中の子たちと交流会をして、「みんなそれぞれ、自分の気持ちをもっている。みんな自分が思ったことがあつたらスグに言える。スゴイ！」と思いました。私も2回は言ったけど、まだ自分の気持ちを言えなかつた所があります。

交流会が終わってYくんと話をしていました。私は、Yくんに「今だったら自分の気持ちをみんなに伝えることができる。」と言ったら「全体学習したいなあ。」と答えてくれました。私の身近に「自分の気持ちに応えてくれる人がいる。」と思ったらうれしくて、早めにクラスの中でもいいから全高のことをみんなに伝えたいと思いました。

今、姉ちゃんは「真友会」に行っていて、帰ってきたらいろいろなことについて話してくれます。「真友会は、自分自身が変わっていくんがわかる。」と言っていました。自分に自信がもてる。私は、これを書きながら思いました。今の中3は、去年の中3にくらべて全体学習の数がムチャクチャ少ないと思います。がんばってここまでつなげてきてるのに、それを最初に戻してはいけないと思うんです。しまいには、差別、部落という言葉も知らない子が出てくるような気がします。私は、もっと全体学習をやっていろんなことを知りたいです。まだ、言いたいことがいろいろあるけど、言葉にはできないから、またパツと思うことがあつたら書きます。

3年女子

まず、全高に参加しての感想。参加者の数にすごく驚きました。全国の集会だとは知っていたけれど、これだけ多くの人達が来るとは予想していませんでした。24日の分科会でいろいろな県の高校生の話を聞いたとき、鳥肌が立つときが何度もありました。自分のお父さんお母さんが受けた結婚差別の話、差別落書きの話、日々常無意識に口にしている言葉についての話、いろいろ聞かせてもらいました。中には、泣きながら発言してくれた人も数多くいました。それを聞いていて、僕は鳥肌が立ちました。また、泣きそうになるときも何度もありました。大勢の前で勇気をだして、貴重な話をし

てくれたこのような人達にすごく感謝しています。

交流会については、いろんな人たちが自分の体験したことを語ってくれました。時々僕達を笑わせるようなことを入れながらしゃべってくれるのですが、話の内容を聞いているとその人がどれだけつらかったのかはっきりわきました。僕も何度か発言するうちに答えが返ってきて、いくつも新しい発見がありました。その後の夕食会では、むこうから話しかけてくれたり、こっちから話しかけたりでどの子ともずい分仲が良くなりました。宿舎でも話をし、トランプなどをして、よりいっそう仲が深まりました。みんな明るい子ばかりでとてもなじみやすかったです。そうこうしているうちに別れの時間が近づいてきて、「もっと話していればよかった」とか「もっと一緒にいたい」なんて思うようになってきました。別れ際に浜田三中の子達から「今度こっちにも来て！」と言ってくれて、とてもうれしくて「行きたい！」と思うようになりました。

最後に、今回出会えたみなさんに本当に感謝したいと思います。短い間だったけど、みなさんのおかげで僕は大きく成長したように思います。その理由はわかりません。でも、何か大きなものをみなさんからもらいました。また、新しい発見もありました。それは、発言する勇気です。これは全高でも同じことが言えます。発言することによって自分の心を相手に伝えることができます。自分の心は発言しないと伝わりません。そんな発見をすることができました。この先、またこんな交流会ができたらと思います。この2日間とてもいい体験ができました。本当に参加してよかったです。 3年男子

こつすい い しょくすいしん 骨・骨道移植推進ミュージカル

徳島ミュージカル劇団「ぴいたあぱん」2000年記念公演



この物語は、ニューヨークのブロードウェイで大ヒットロングランしたミュージカル「アニー」の後日談として書き上げたものだそうです。そのストーリーとは……。

ある孤児院にいた孤児のアニーは大金持ちのウォーバックに引き取られ、幸せな生活を送っているのですが、優しいアニーは残った孤児の仲間たちが心配で、いつも仲間に必要なものを届けたいと希望していました。

そんな気持ちを理解したウォーバックは、孤児院の意地悪でうそつきでいつも孤児た

ちをいじめている、寮長のハニガンにそんなこととは知らず、多額の寄付金を送っていました。そのお金で孤児院の子どもたちは、幸せな生活とはいかなくても最低限の生活ができているものと思っていたのです。そんなうその生活を孤児のモリーはアニーに手紙で知らせたのです。

そのことを知ったアニーはウォーバックに頼み、ホントのことを知るために孤児院にもぐり込みました。生活は昔アニーがいたときと何も変わってなく、相変わらずひどい生活で冷たいスープと硬いパンそしてぼろ布の布団と洋服だったのです。

そんな中で、仲間のモリーが具合が悪いのに病院につれていってくれず、ついに倒れてしまいました。病名は白血病だったのです。難病の白血病にかかったモリーを、何とか助けたいと孤児たちはドナー登録を街の大人たちに呼びかけるのですが、大人たちはみんな冷たく他人のために協力なんかしてくれません。

それでも孤児のモリーにとっては、身内もいないのでドナー登録をしてくれる人を、探し出さないと助かる希望がないのです。入院したモリーの仲間に同じ白血病の子どもたちがいました。モリーと仲良くなつたエミリーは、ドナーの提供者が見つからずモリーたちの見守る中、死んでしまったのです。

白血病にかかった子どもたちはなんの罪もなく、これから未来を夢見ることができます、ただひたすらドナー提供者を待っているだけしかできないのです。

モリーのドナー提供者は果たして見つかるのでしょうか……。

現在、血液のガンと言われる「白血病」や、「再生不良性貧血」を治療するには、人の体にある骨髄というのを移植しなければなりません。しかし誰の骨髄でもいいというではなく、白血球の型が一致しなければいけないのです。その確立は、兄弟姉妹で4人に一人。それ以外では、数百人から数万人に一人と言われています。

みなさん！今あなたの一一番大切な大切な人がこの病気にかかったとしたらどうでしょうか？現在、日本骨髄バンクに登録されているのは、約13万人だそうです。徳島県は全国最低で、約600人。骨髄液の採取や骨髄移植を実施している医療機関もないんだそうです。

私はまだ骨髄バンクに登録できていません。次の「臓器提供意志表示カード」は私のもので、常に財布に入れているのですが、これもまだ決心がつかず、○を入れられていません。

臓器提供意思表示カード



あなたの意思表示ありがとうございます。

厚生省・(社)日本臓器移植ネットワーク
ドナー情報用全国共通連絡先：0120-22-0149

↓
【該当する 1. 2. 3. の番号を○で囲んだ上で
提供したい臓器を○で囲んで下さい】

- 1 私は、脳死の判定に従い、脳死後、移植の為に○で囲んだ臓器を提供します。
(×をつけた臓器は提供しません)
心臓・肺・肝臓・腎臓・脾臓・小腸・その他
- 2 私は、心臓が停止した死後、移植の為に○で囲んだ臓器を提供します。
(×をつけた臓器は提供しません)
腎臓・眼球(角膜)・脾臓・その他
- 3 私は、臓器を提供しません。

署名年月日： 年 月 日

本人署名(自筆)： 吉成正士

家族署名(自筆)：

(可能であれば、この意思表示カードをもっていることを知っている家族が、そのことの確認の為に署名して下さい。)

でも、私は思うんです。「まず関心を持つこと」だと。関心を持っても、行動に移さないと意味がないと言われればその通りですが……。みなさんはどう思いますか？

とにかくみなさん！ぜひ見に行ってみてください！

とき 12月10日(日) 開演 13:30

ところ 文化の館さくらホール

主催 文化発信局 さくらホール友の会……実は私も会員です

ちなみにミュージカルは人気があるので、早めにチケットを買ってくださいね！

ミュージカル出演者募集！！

今回の公演に際して、子役と大人役の出演者を町内を優先に募集するそうです。応募多数の場合はオーディションを行うということで、ぜひ関心のある人は参加してみてはどうでしょうか！もちろん、今回に限りレッスン代は無料です！ホンモノの指導を週一回受けられるなんて、なかなかめったにない機会だと思いますよ。応募締め切りは9月末までに文化の館(Tel672-5888)ということなので、連絡してみてください。私、吉成も相談にのりますよ！



新・ひとり・♪♪♪

とつぜん

突然プレゼントコーナー!!! 小学校5年から中学校3年

までの5年間を不登校で苦しみ、定期制高校に入つてから、暖かい仲間や先生に支えられた主人公が、人間と人生への希望を見いだして立ち上がる姿を描いた映画“あかね色の空を見たよ”(実話)の特別試写会の招待券が手に入りました。当日は中山節夫監督のあいさつのあと映画上映するそうです。希望の方は21日正午までに吉成まで申し込みに来てください！

とき 9月22日(金) 18:30～20:30

ところ 青少年センター3階ホール



△ これからのお題 ◇ ★ ☆☆ ★★★ ☆☆☆☆ ★★★☆☆★

10月3日(火) 2年生第2回全体学習(2年A組資料「この子を残して」)⇒みんなで考えよね!

11日(水)~14日(土) 2年生修学旅行(中国・九州地方)⇒吉成も行きまっせえ~!

12日(木)・13日(金) 第51回徳島県同和教育研究大会(徳島市立文化センター他)

17日(火) 3年生第1回全体学習(3年B組)⇒ああ、3年生のみんな、やつたぞ!

17日(火)・18日(水) 1年生宿泊訓練(牟岐少年自然の家)⇒次本が行きまっせえ~!

